

9. 複合抵抗性品種「ゆめまつり」のイネウンカ類密度抑制効果

1. 背景とねらい

減農薬栽培を実現するために、複合抵抗性品種「ゆめまつり」のイネウンカ類の虫数に対する密度抑制効果を明らかにします。

2. 成果の内容

- 1) 「ゆめまつり」におけるヒメトビウンカの虫数は、「あきろまん」の約 4 割となります（図 1）。
- 2) 「ゆめまつり」におけるセジロウンカの虫数は、「あきろまん」の約 2 割となります（図 2）。
- 3) 「ゆめまつり」におけるトビイロウンカの虫数は、「あきろまん」の約 3 割となります（図 3）。
- 4) 「ゆめまつり」におけるトビイロウンカの虫数は、移植直前にクロチアニジン・オリサストロビン粒剤を育苗箱施用した「あきろまん」と比べて、ほぼ同等に推移します（図 4）。
- 5) 複合抵抗性品種「ゆめまつり」は、無防除の「あきろまん」と比べてセジロウンカおよびトビイロウンカの虫数を約 2～3 割に抑制しており、クロチアニジン・オリサストロビン粒剤を箱施用した「あきろまん」と同等の密度抑制効果があると考えられます。

3. 利用上の留意点

- 1) 「ゆめまつり」は広島県の産地品種銘柄に未登録で、奨励品種ではありません。種子の入手は最寄りの JA に相談してください。

(生産環境研究部・栽培技術研究部)

4. 具体的データ

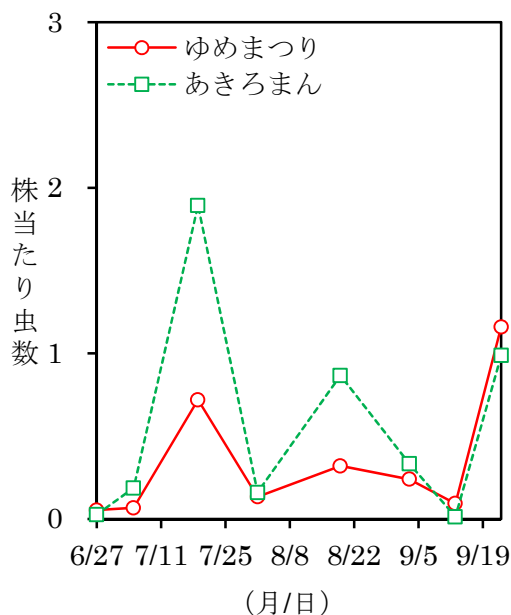


図1 「ゆめまつり」におけるヒメトビウンカの虫数の推移 (2013)

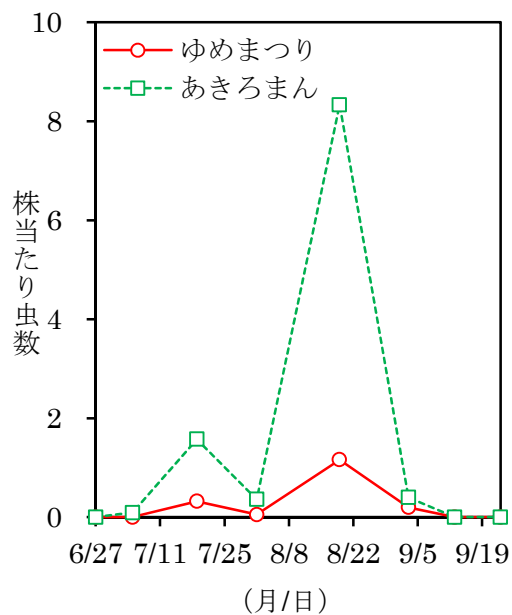


図2 「ゆめまつり」におけるセジロウンカの虫数の推移 (2013)

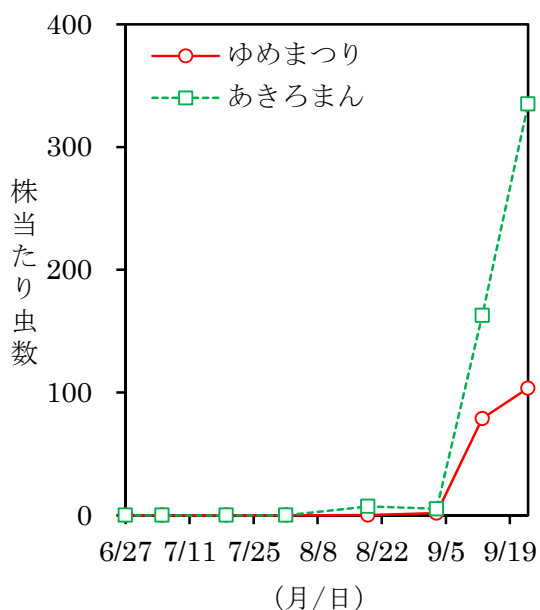


図3 「ゆめまつり」におけるトビロウンカの虫数の推移 (2013)

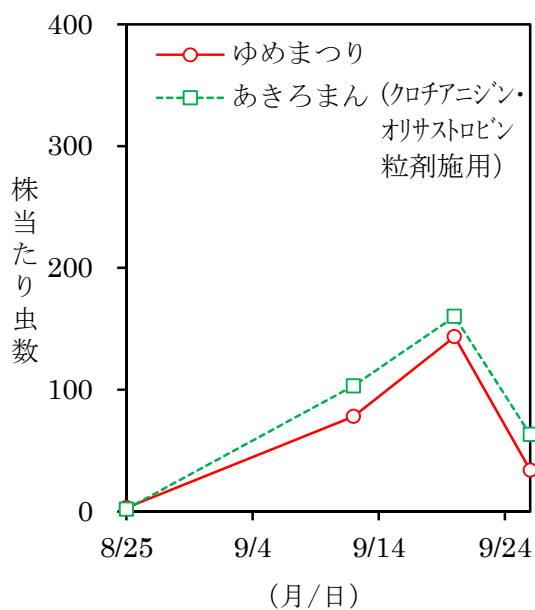


図4 「ゆめまつり」と殺虫剤を育苗箱施用した「あきろまん」におけるトビロウンカの発生推移の比較 (2014)

本研究は、農林水産省委託プロジェクト（課題名：生物多様性を活用した安定的農業技術の開発）において実施しました。